

# 日刊 不動産経済通信

2018年（平成30年）3月23日

◎REB1000社の会、講演会を開催

REB1000社の会（理事長 清水修司・SD建築企画研究所社長）は、このほど代々木SYDホールで「第52回セミナー&情報交流会」を開催した。

第1部はドイツ証券株式調査部・マネージングディレクターの大谷洋司氏が「今起きている不動産市場の構造変化と不動産テック時代の生き残り戦略とは!？」と題した講演を行った。大谷氏は「規制緩和で日本の移民は増え続ける。日本人の需要が厳しくなる時代になり、早めにその変化に対応する必要がある。不動産テックはまだ始まったばかりだが、将来既存ビジネスを破壊する可能性がある」と、危機感を語った。

第2部は司法書士の長田修和氏が「地面師はこう見抜け! その特徴とチェックポイント」を解説。実際に長田氏が遭遇した事例を紹介するとともに、「地面師詐欺で司法書士を訴えた場合に過失が認められるケースは少なく、売主に接するタイミングの多い宅建業者の責任は重い。地面師に嫌われる入念なチェックを」と呼びかけた。当日は230人が参加した。